

The logo for QuickKnowledge, featuring the text "QuickKnowledge" in white on a dark purple circular background. The background of the slide is decorated with several overlapping, semi-transparent purple circles of varying shades, creating a layered effect.

QuickKnowledge

CDP 2016 ウォーター日本報告会

「機関投資家の水課題への取り組み」

～ 世界のアセットオーナーの視点 ～

2016年12月5日

株式会社QUICK ESG研究所長

常務取締役 広瀬 悦哉

※本資料に記載の会社名および製品名は各社の商号または商標もしくは登録商標です。
※本資料に記載の画面例等はサンプルです。記載の内容は今後変更の可能性があります。

Confidential

1. PRIが重視するESG課題

「水リスク」は普遍的なESG課題



環境

- 水リスク
- フラッキング
- 気候変動
- 森林破壊



社会

- 労働基準
- 人権
- 不平等
- ジェンダーの多様性



ガバナンス

- 税
- 腐敗防止
- 議決権行使
- 取締役会の説明責任
- 取締役の報酬

出所：PRI 2016年年次会員総会プレゼンテーション資料

2. 機関投資家の取り組み

NBIM : Norges Bank Investment Management



Thirsty business: Why water is vital to climate action
2016 Annual Report of Corporate Water Disclosure

Written on behalf of 643 investors with US\$67 trillion in assets



NBIM
リードスポンサー

CDP Report | November 2016

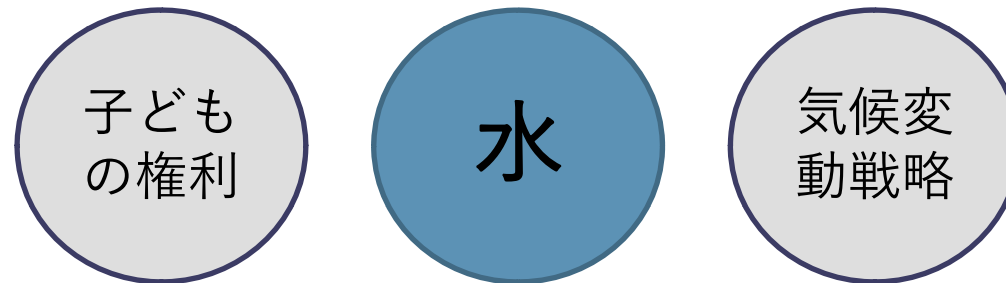
Water scoring partner south pole STAP

lead partner NORDES BANK

2. 機関投資家の取り組み

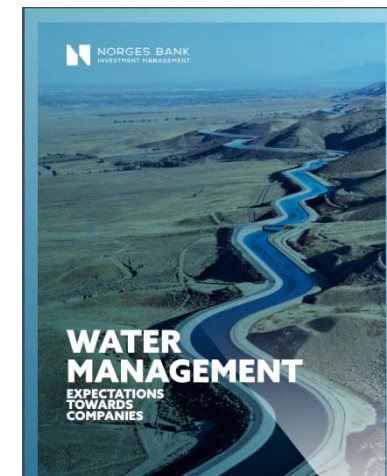
NBIM : Norges Bank Investment Management

- 2009年、水リスクをフォーカステーマに設定。現在も、水リスクは3フォーカステーマのうちの一つ



- 水リスク管理について企業に期待する事項を記したレポートを公開

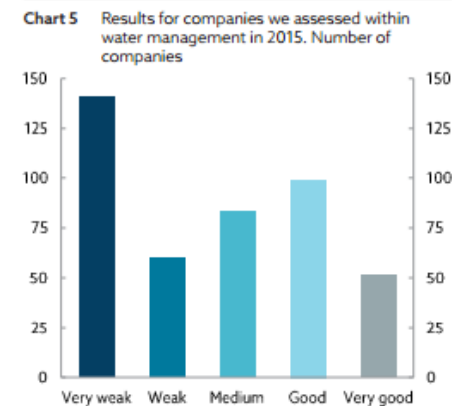
「Water management expectations towards companies」



2. 機関投資家の取り組み

NBIM : Norges Bank Investment Management

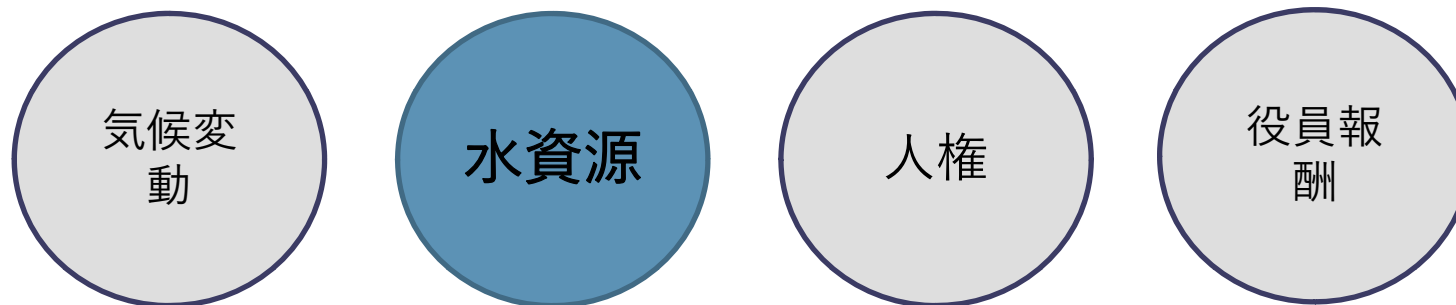
- 2010年より、水リスクに曝されている企業の評価を実施
- 2015年、470におよぶ企業の水リスク情報開示評価を実施
対象業種：消費者製品、パルプ・紙、石炭、公益事業
- 企業の最新の開示情報をベースに、評価を実施
- 5つの指標（Indicator）をベースに、企業の開示情報を5段階で評価



2. 投資家の取り組み

CPPIB：カナダ年金基金投資委員会

- 企業とのエンゲージメントにおける4つの重点領域
「水資源」が含まれる
- エンゲージメントの目的
 1. 企業の水リスクに関する戦略およびパフォーマンスの報告改善
 2. 比較可能なフォーマットでの開示促進
 3. 長期的な水リスクに対するマネジメント向上の追求



2. 投資家の取り組み

GPIF – ESG指数の公募

- 「指数等で考慮することが考えられるESGファクターの例」として、水資源が挙げられている。

大分類	中分類	具体例
環境	気候変動	地球温暖化、二酸化炭素排出、エネルギー効率 事業活動に起因する環境汚染
	自然資源	水資源 、責任ある原材料調達、土地利用、生物多様性
	環境市場機会	クリーンテクノロジー 再生可能エネルギー
社会	人的資本	労働マネジメント、ジェンダー・ダイバーシティ 人的資源開発
	健康と安全、人権	製品安全・品質 プライバシー&データセキュリティ 非人道的兵器（クラスター爆弾、対人地雷等）
	他ステークホルダー	サプライヤーへの配慮 地域コミュニティへの配慮
ガバナンス	コーポレートガバナンス	統治形態 取締役会の構成
	企業行動	企業倫理、偽装・改ざん 公正な競争、汚職
『パリ協定』や『持続可能な開発目標（SDGs）』など、持続可能な社会構築等を目的とした国際協調に資する要素を考慮に入れた指数なども考えられる。		

出所：経済産業省「持続的成長に向けた長期投資（ESG・無形資産投資）研究会（第1回） - 配布資料7よりQUICK ESG研究所作成

2. 機関投資家の取り組み

PRI 協働エンゲージメント「農業サプライチェーンにおける水リスク」

- エンゲージメント対象企業：56社（うち日本企業が1社）
2013年初めに開始（現在も継続中）

- エンゲージメントの目的
 1. （対象企業において）農業サプライチェーンにおける水リスクがどの程度意識・評価されているか、またどのように管理されているかを把握する。
 2. 結果を踏まえ、企業とともに、現在の水リスクを抑えるためにどのような活動ができるか、どのようなデータベースやツール、技術を活用できるか、対話を実施する。
 3. エンゲージメントを実施し、サプライチェーンにおける水リスクに関する情報、およびその管理体制を改善・強化することによって、投資家は、保有するポートフォリオがどの程度水リスクに対するエクスポージャーに曝されているか、より適切に判断することが可能となる。

2. 機関投資家の取り組み

PRI 協働エンゲージメント「農業サプライチェーンにおける水リスク」

◆ リード投資家

Achmea
ACTIAM
Alliance Trust PLC
APG Asset Management
AustralianSuper
Bank J. Safra Sarasin Ltd
BMO Global Asset Management
Boston Common Asset Management
Boston Trust & Investment Management Company
Deutsche Asset Management
Hermes Equity Ownership Services Ltd
Martin Currie Investment Management
MN
Nordea
Pax World
PGGM Investments
Raiffeisen Capital Management
Robeco
Rockefeller Asset Management
Sumitomo Mitsui Trust Bank, Limited
Threadneedle Asset Management Ltd
West Midlands Pension Fund
Standard Life Investments

◆ サポート投資家

Aviva Investors
CDC Group plc
Church of Sweden
Core Capital Management, LLC
Folksam
Henderson Global Investors
Ibercaja Pensión E.G.F.P., S.A.
Northern Ireland Local Government Officers'
Superannuation Committee
REPSOL II Fondo de Pensiones
Robeco
Sustainable Capital Ltd
The Oblate International Pastoral Investment Trust
Towers Watson Investment Services
United Church Funds
Inflection Point Capital Management U.K. Ltd.
Pensions Caixa 30 FP
La Francaise AM

3. 将来的な方向性

リスクと機会の把握

- CDP Waterに回答することは、企業が自社の水に関するリスクと機会を把握し、認識することに繋がる。
- 自社の機会、強み
ポジティブな製品やソリューションの提供が、SDGsとの対応という観点から、評価される可能性がある。

3. 将来的な方向性

PRIはSDGsをガイドラインの一部に組み込む検討を行っている。
 (2016年9月のPRI年次総会にて表明)



About QUICK ESG 研究所

グローバルな責任投資に関する研究を専門とするアナリスト、コンサルタントを擁し、年金基金、運用機関、および企業のCSR/IR/経営企画部門に必要なESGデータ、分析レポート、および戦略アドバイザーを提供する。

- 2014年4月 「QUICK EIRIS ESGサービス」の提供を開始
- 2014年10月 年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）の「年金積立金管理運用独立行政法人におけるスチュワードシップ責任及びESG投資のあり方についての調査研究業務」を受託
- 2015年2月 事業法人向けアドバイザーサービス「QUICK ESGサービス for Corporation」を開始
- 2015年5月 「QUICK ESG研究所ポータルサイト」を開設
- 2016年2月 米議決権行使助言会社大手 グラスルイス（GLASS LEWIS）とパートナーシップ契約を締結
- 2016年7月 CDP Water のスコアリングパートナーに認定

【国際的な活動】

PRI署名機関

CDPゴールドデータパートナー、CDP Waterスコアリングパートナー

JSIF法人会員、理事

RI（Responsible Investor）Asia 2014、2015 共同スポンサー、2016 リードスポンサー

VigeoEIRISパートナー

Glass Lewis パートナー



About QUICK ESG 研究所

QUICK ESG研究所 ポータルサイト <http://sustainablejapan.jp/quickeg>

QUICK ESG * 責任投資の最前線

無料メルマガ登録 お問い合わせ Search ...

本サイトはSustainable Japanの協力を得て運営しています。

News ニュース | Research Report リサーチレポート | Column コラム | Services サービス | About US/What's New 研究所紹介・お知らせ

1 NO POVERTY | 2 ZERO HUNGER | 3 GOOD HEALTH AND WELL-BEING | 4 QUALITY EDUCATION | 5 GENDER EQUALITY | 6 CLEAN WATER AND SANITATION

7 AFFORDABLE AND CLEAN ENERGY | 8 DECENT WORK AND ECONOMIC GROWTH | 9 INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE | 10 REDUCED INEQUALITIES | 11 SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES | 12 RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION

2016/10/19 ESG 最新ニュース

【RI 特約記事】投資家による持続可能な開発目標 (SDGs) に従ったインパクト投資へのコミットメント

本稿は、レスポンシブル・インベスターの掲載記事をQUICK ESG研究所が翻訳したものです。オランダおよびスウェーデンの年金基金および資産運用機関は共同で、「山積する社会および環境課題」に対応するために投資意思決定のフレームワークとして「持続可能な開発目標 (SDGs)」を活用すると宣言し署名した。署名機関には、スウェーデンの年金基金であるAP1、AP2、AP3、AP4およびオランダ

» 続きを読む

13 CLIMATE ACTION | 14 LIFE BELOW WATER | 15 LIFE ON LAND | 16 PEACE, JUSTICE AND STRONG INSTITUTIONS | 17 PARTNERSHIPS FOR THE GOALS

SUSTAINABLE

News

CORPORATE GOVERNANCE

【アジア】「2016アジア・コーポレート・ガバナンス・ランキング」首位シンガポール、日本は3位

2016/10/25 ESG 最新ニュース

SUSTAINABLE GOALS

【RI 特約記事】投資家による持続可能な開発目標 (SDGs) に従ったインパクト投資へのコミットメント

2016/10/19 ESG 最新ニュース

PRI in Person

【RI 特約記事】PRIは成果の上から下へ署名機関を除名する計画

2016/10/18 ESG 最新ニュース

Sustainable Japan

世界最前線のサステナビリティ情報を毎日配信

サステナビリティ・ESG用語集

Archives

月を選択